

平成30年度  
市民協働事業提案

# 公開プレゼンテーション

日時 平成30年5月8日 10:00～11:20  
場所 中央市民サービスセンター 音楽室3

- 10:05 自分らしく最期まで暮らせるまち 秋田 を目指して  
特定非営利活動法人 ホームホスピス秋田・・・P1
- 10:25 子どもの学べる居場所づくり「Raum」  
特定非営利活動法人 秋田たすけあいネットあゆむ・・・P1
- 10:45 FROMPROJECT 秋田第5期  
公立大学法人国際教養大学秋田若者活性化委員会 FROMPROJECT 秋田・・・P2
- 11:05 “気候変動対策×主権者教育”プロジェクト  
～みんなで描く、にじいろ未来～  
一般社団法人 あきた地球環境会議・・・P2

# 自分らしく最期まで暮らせるまち 秋田 を目指して

特定非営利活動法人 ホームホスピス秋田

## 事業目的

高齢化が進む秋田市において、年を重ねても、障がいがあっても自分らしく安心して過ごすことができるまちづくりを目指し、語り合い、学び合う機会を提供する。

## 事業内容

地域包括支援センターの5圏域(中央、東、西、南、北)を目安に。2か月に1度の割合で順に出向き、在宅医療等社会資源の紹介や、語らいの場を提供する。年に1度、在宅医療にちなんだ講師を招いて講演会を行う。

## 市の役割

会場確保協力。活動周知。後援、共催。協働できそうな団体やボランティアの紹介。

## 申請予定額

413,500円

## アピールポイント

「地域包括ケアシステム」の一環を担う社会資源となるために、地域の中のあらゆる機関、人的資源と連携し、地域住民と信頼関係を築きながら事業を推進していく。また、在宅において看取りまで支援する活動を目指しており、2015年12月からは「くらの家手形山」を、本格稼働。平成30年3月25日現在、延入居者は19名であり、9名の方を看取る。

# 子どもの学べる居場所づくり「Raum」

特定非営利活動法人 秋田たすけあいネットあゆむ

## 事業目的

学校へ行きたくても行けない、平日の学校以外で学びたくても通う場所がないという子どもたちが学びながらさまざまな体験を通して成長できたり、巣立っていけたりする場所をつくる。

## 事業内容

秋田たすけあいネット事務所で、毎週火曜日から金曜日の10:30~15:30まで、小学生から中学生を対象に、子供の学べる居場所づくりを実施。カリキュラムは英語の先生による「英語教室」、司書による「読み聞かせ」のほか「農業体験」など、さまざまである。送迎も対応可能。(授業料は1日800円。送迎は追加で200円。校外学習についてはその都度実費。)

## 市の役割

当団体の学校や関係機関との連携や情報共有などを把握する。そして、今後も継続的に事業が実施できるよう、さまざまな情報提供や情報交換を行う。利用対象世帯、市民への広報。経験者、協力者、ボランティアの呼びかけ。

## 申請予定額

850,000円

## アピールポイント

生活困窮者支援、学習支援パソコン教室、一人親サポート等の活動を通し、さまざまな支援をしている。特に「子どもの貧困問題」に力を入れている。子どもの学べる居場所づくりはカリキュラムが充実していて、上記以外にも書道教室、お絵かき教室精神保健福祉士による相談会、校外学習などがある。

## FROMPROJECT 秋田第 5 期

公立大学法人国際教養大学秋田若者活性化委員会 FROMPROJECT 秋田

### 事業目的

秋田の高校生が主体的に秋田の課題を発見し、プロジェクトという形で解決策を立てられることや、主体的な学びの場を創出することを目的とする。また、若者の挑戦できる機会を地域ぐるみで創っていく。

### 事業内容

県内の高校生に対してキャリア教育や課題解決型学習の場を設け、高校生たちの意思を最優先した能動的な学びの場の推進。計8回、日曜日に開催する講座で、プロジェクトの立ち上げや運営方法、チームビルディングのスキルやその公的な発表および報告に至るまでのコーチングを行う。高校生と地域の結びつきを深めることも重視する。

### 市の役割

高校生がプロジェクトを行う上で、そのプロジェクトの必要性やその分野において、実際に市が抱える課題、これまでの実績を共有。市が持っている高校生のプロジェクトに必要とされる情報や地域の社会人との人脈提供。講座や報告会の広報協力と場の斡旋・提供

### 申請予定額

173,000 円

### アピールポイント

これまでキャリア教育を行ってきた高校生の活動が秋田のケーブルテレビや新聞で取り上げられた。秋田県内や地域住民の注目度も高い。各地方から優秀なプロジェクトを行った高校生が東京に集う「Good Impact Challenge」に出場し、秋田の高校生の活動を全国に広めた。

## “気候変動対策×主権者教育”プロジェクト

～みんなで作る、にじいろ未来～

一般社団法人 あきた地球環境会議

### 事業目的

高校生を対象に、環境の視点で社会参画に必要な主体性や判断力を養うことで、多様な地域課題への意識が高まり、解決に向け行動できる人材を育成する。

### 事業内容

市内高校生を対象に気候変動を題材とした主権者教育に関する体験学習(①気候変動対策、主権者教育に関する授業②校内模擬選挙③実行計画の作成、ふりかえり)を行う。実施した講座内容を記録した事例冊子を作成し閲覧可能とするほか、HPにて紹介する。

### 市の役割

秋田市の環境問題、環境対策に関する情報提供。選挙機材の貸出。本事業の内容に関する専門的な助言

### 申請予定額

1,000,000 円

### アピールポイント

環境保全や地球温暖化に関する講座を多数開催。独自で開発した環境学習ツールや環境教育プログラムがあり、法人職員も講座講師として多くの実績がある。多数の学校との連携実績もある。「ESD 環境教育プログラム策定・実証事業(環境省)」において、党法人が策定したプログラムがモデルとして支度を受け、全国の教育委員会等に紹介された。

◎メモ欄

秋田市